

時間と陰陽道

かつての日本では占い師を「陰陽師」とよび、
彼らの術法は陰陽道とよばれました。

一方で古代以来、陰陽師は暦を作り、漏刻(=水時計)で時刻を管理しました。

暦も漏刻も中国から朝鮮半島などを経て入ってきますが、

陰陽師が日付や時刻を使って吉凶を占うことで、

日本人は時間を意識するようになったとも言えます。

このシンポジウムでは陰陽道がどのように日本人の時間意識に
影響を与えたのかを明らかにしたいと思います。

2025.6/14 SAT

【時間】14:00—17:10(開場13:30)

【会場】活水女子大学東山手キャンパス411教室(長崎市東山手1-50)

路面電車/JR長崎駅から[1]系乗車「新地中華街」で[5]系に乗り換え「メディカルセンター」下車(所要時間約15分、徒歩5分)

バス/JR長崎駅南口バス停から長崎バス[10][17][30]系、または東口から長崎バス[40][60]系に乗り

「メディカルセンター」下車(所要時間約15分、徒歩4分)

コーディネーター | 細井浩志(活水女子大学・教授/時間学研究所・客員教授)

講演

細井浩志(活水女子大学国際文化学部・教授)
「はじめに—陰陽道研究と時間学との関係」

赤澤春彦(摂南大学国際学部・教授)
「古代中世の占いと時刻」

梅田千尋(京都女子大学文学部・教授)
「江戸時代の暦と陰陽師—年卦の配布と受容から」

小池淳一(国立歴史民俗博物館・教授)
「トシガミから歳徳神へ—正月行事をめぐる—」

林 淳(東洋大学・客員研究員)
「コメント—陰陽道と日本人の時間意識」

パネルディスカッション

【参加対象】市民一般および研究者

【定員】300名

【主催】山口大学時間学研究所

【共催】日本時間学会、活水女子大学

【後援】長崎市教育委員会

【お問合せ】山口大学時間学研究所 tel 083-933-5848

E-mail▶jikann@yamaguchi-u.ac.jp HP▶http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp

参加無料

事前申込不要



山口大学



The
Japanese
Society for
Time
Studies



活水女子大学

